



来年度の予算編成方針は

野月 一博 (高志会)

議員 来年度の予算編成はどのような考えで取り組むつもりなのか。

市長 市の財政状況は、平成二十二年度の一般会計、特別会計、企業会計の決算で、健全化判断比率及び資金不足比率ともに問題がなく、基金残高は、財政調整基金、減債基金、特定目的基金、合計六十七億円を確保しています。

また、国の平成二十四年度予算編成の概算要求基準では、全庁に対し政策的経費の一律一割削減を要請しているなどの影響も心配されます。

平成二十四年度予算編成に当たっては、基金繰り入れに頼らず、限られた財源の中で選択と集中による事業の重点化、効率化を図った予算を編成していきたいと考えています。

産馬通りに街灯の設置を

議員 旧国道四号から太素公園までの産馬通りに、商店街活性化に向けた環境づくりのため、街灯を設置する考えはないか。

観光商工部長 街路灯は原則として商店街が設置するものですが、商店街から希望があった場合は、国及び県の補助金等の支援



産馬通り

策が利用できるよう協力していきたいと考えています。現在は当該区域からの設置希望は出ていません。

また、産馬通りの商店街区間の街路灯を確認したところ、センサーの故障等により三基が正常に点灯していなかったため、この区間の街路灯を維持管理している商店会に対し、速やかに対処していただくよう申し入れしています。

町内会の防災訓練を奨励し、災害時に備えを

小村 初彦 (公明党)



議員 町内会単位での防災訓練を奨励し、実施する考えはあるか。

市長 当市には、複数の町内会で組織している十団体の自主防災組織があり、組織的な防災活動を実施しています。市ではその育成強化のため、啓発活動や資料の提供、研修会等への参加を奨励しています。

今後、市民に対して土砂崩れや冠水が起きそうな危険箇所を周知するなど、防災意識の高揚に努めていくとともに、町内会による自主防災組織の新設や既存組織への加入、地域の状況に応じた防災訓練の実施を奨励し、災害に強いまちづくりを進めていくことが必要と認識しています。



県防災訓練に参加する自主防災組織

は重要であると認識しています。現在市で備蓄している土のう、毛布、タオル、ラジオなどを町内会等に分散して備蓄することが効果的であるか検討したいと考えています。

若葉球技場を人工芝に

議員 近隣住民への土ぼこり対策として、若葉球技場を人工芝にする考えはあるか。

教育長 競技グラウンド及びその周辺を含めた総面積一万二千七百平方メートルの整備には約一億五千万円、外構工事等も含めると約二億円前後の事業費が必要になります。市単独で整備することは困難なため、高森山総合運動公園がフットボールセンターに認定された際、それを補完する施設としての助成事業の適用や他の整備事業が活用できるか確認するなど、土ぼこり対策も含めて今後の整備の可能性や方向性について検討していきたいと考えています。